

# 平成19年度人間総合科学研究科最先端医学研究セミナー

日時：2008年2月7日（木）17:00～

場所：医学群棟4階4A411

日本ミリポア株式会社

新田 公二 先生（ラボラトリーウォーター事業本部）

亀山 一央 先生（ライフサイエンス事業本部）

\*本セミナーは最先端医学研究セミナーの単位に換算されます。

## 「バイオ実験における純水・超純水の基礎知識」

純水・超純水は基礎研究において、実験用水および洗浄用水として使用されています。再現性ある実験結果を得るために、実験用水として使用する際に水に求められることは、実験に影響を与える不純物が取り除かれていることと、常に一定の水質であることです。

純水・超純水は様々な精製技術を組み合わせて精製を行ないますが、用いる精製技術、精製技術の組み合わせ方により得られる水質が異なります。そのため、目的とする水質を得るためには適切な精製技術を備えた純水・超純水装置を選択する必要があります。また、超純水は不純物が限りなく除去されているため、採水後の取り扱い方を誤ると、再び汚染させてしまうことにつながります。

そこで、本セミナーでは、純水・超純水を精製する際に用いられる要素技術、HPLC・LC/MSなどの機器分析に使用する水の重要性、エンドトキシンを嫌う細胞培養やDNA・RNAを扱う実験に使用する水の重要性について、さらに超純水を正しく扱う方法についてお話しさせていただきます。実験における水の重要性については様々な実験データを使用して、具体例とともに分かりやすくお伝えいたします。

## 「ウェスタンブロットの基本原則と実験のコツ」

タンパク質解析に欠くことのできないウェスタンブロットは、多くの研究者の方に利用されています。日本ミリポアでは、永年、ウェスタンブロットのトラブルシューティングを行っており、そのトラブル解決のノウハウを蓄積してまいりました。本セミナーでは、蓄積されましたトラブルシューティングのノウハウを元に、実験のコツについて御話をさせていただきます。トラブル例として、検出感度向上、バックグラウンド低減などを例にとり、ウェスタンブロットの基本原則を踏まえた、トラブル解決への指針と考え方を分かりやすく、説明させていただきます。

共催：筑波分子医学協会（協会長、入江賢児）

連絡先 先端応用医学専攻：大根田修（2938）

分子情報・生態統御医学専攻：渋谷彰（3281）

社会環境医学専攻：熊谷嘉人（3133）